

HTV  ONT



HTVRONT H17 Phone Case Heat Press
のユーザーマニュアル

ボックスに含まれるもの

HTVRONT H17 Phone Case Heat Pressをご購入いただきありがとうございます。初めてご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みになり、大切に保管してください。



▶ HTVRONT H17 Phone Case Heat Press ×1



▶ 携帯電話ケース固定具セット×1



▶ バッジ固定具セット × 1個



▶ 昇華フィルム (A4) ×5



▶ 耐熱手袋 × 1組



▶ 昇華バッジ (58 mm) ×3



▶ ピンセット ×1



▶ 耐熱テープ × 1巻

デバイスの概要



| | | |
|----------------------------|-------------|---------|
| 1、HTVRONT H17 スマホケースヒートプレス | 2、ディスプレイ画面 | 3、ボタン |
| 4、上部ヒートプレート | 5、下部ヒートプレート | 6、ハンドル |
| | | 7、電源コード |

ボタンの詳細



力
電源オン/オフ:
電源を接続すると、「電源」ボタンが白く点滅します。短く押すとデバイスの電源のオン/オフが切り替わります。
*工場出荷時の状態にリセットするには、「電源」ボタンを3秒間押し続けます。



温度
1 回押す (黄色のライトが点灯): 上部のヒート プレートの温度を調整します。
1 回押す (赤色のライトが点灯): 下部ヒート プレートの温度を調整します。
*5 秒以内に +/- 調整が行われない場合、インジケータ ライトは自動的に消灯します。
2秒間押すと°Cと°Fが切り替わります。



時間
1 回押す (黄色のライトが点灯): 予熱時間を設定します。
1 回押す (赤色のライトが点灯): 熱伝達時間を設定します。
*5秒以内に +/- 調整が行われない場合、ライトは自動的に消灯します。



増加
1 回押すと温度が 5°C (5°F) 上昇し、時間が 5 秒延長されます。
押し続けると (2 秒以上)、温度が 10°C (10°F) ずつ、時間が 10 秒ずつ連続的に増加します。



減少
1 回押すと温度が 5°C (5°F) 低下し、時間が 5 秒短縮されます。
押し続けると (2 秒以上)、温度が 10°C (10°F) ずつ、時間が 10 秒ずつ連続的に下がります。



始める
緑色のライト: 温度が設定値に達しました - 真空と熱伝達をアクティブにします。
赤色ライト: 温度はまだ設定値に達していません。

インジケータライトの詳細

| ボタン | 色 | 状態 |
|-----|-------------|-----------------|
| 力 | フラッシュホワイト | 電源接続 |
| | 白 | 電源オン |
| 温度 | フラッシュイエロー | 上部ヒートプレート温度調節可能 |
| | 赤 | 下部ヒートプレート温度調節可能 |
| 時間 | 黄色 | 予熱時間調整可能 |
| | 赤 | 熱伝達時間調整可能 |
| 始める | フラッシュレッド | 暖房または冷房中 |
| | 緑 | 目標温度に到達 |
| | フラッシュグリーン3秒 | 熱伝達完了 |

機能



メモリモード
設定された温度と時間は
次の操作のために記憶
されます。



自動電源オフ
設定温度に達してから15分以
内に操作が行われない場合、
本製品は自動的に電源をオフ
にします。電源オフの10秒前
にピープ音が鳴り、「電源」
ボタンが白く点滅します。



デフォルト設定を復元する
「電源」ボタンを 3 秒間押し
続けると、デバイスがデフォ
ルトの温度と時間設定にリセ
ットされます。

使用上の注意

1. 火傷を防止するため、作業中は常に耐熱手袋を着用してください。
2. チャンバーを加熱する際は、器具をチャンバー内に入れて予熱してください。予熱時間は5分以上が推奨されます。
3. A4 サイズの昇華フィルムのみを使用し、加熱チャンバー内で両面が平らに揃っていることを確認して、真空シールと正確なデザイン転写を成功させます。
4. 携帯電話ケースに加えて、この装置はバッジ、セラミックプレート、キーホルダー、コースターなどの昇華コーティングされた他のアイテムを熱プレスできます。
5. 熱伝達中にいずれかのボタンを押すと、プロセスが停止し、デバイスはスタンバイ モードに戻ります。
6. 昇華フィルムは使い捨てであり、熱転写に再利用することはできません。

クイックリファレンスチャート

| 基板 | 材料 | 道具 | 上部ヒートプレート温度 | ヒートプレート温度を下げる | 予熱時間 | 転送時間 | 剥離法 |
|-------------|----------|---------------|-------------|---------------|-------|------------|--------|
| 携帯ケース | TPU/PC | 携帯電話ケース固定具セット | 135°C/275°F | 135°C/275°F | 2-10秒 | 300 ~ 350秒 | ホットピール |
| バッジ | 金属 | バッジ固定具セット | 140°C/285°F | 140°C/285°F | 2-10秒 | 330年代 | ホットピール |
| セラミックプレート | セラミック | ベースプレート | 140°C/285°F | 140°C/285°F | 2-10秒 | 300番台 | ホットピール |
| コースター | レザー | ベースプレート | 135°C/275°F | 125°C/255°F | 2-10秒 | 300番台 | ホットピール |
| キーチェーン | MDF | ベースプレート | 135°C/275°F | 135°C/275°F | 2-10秒 | 300番台 | ホットピール |
| スレートコースター | 石 | ベースプレート | 140°C/285°F | 140°C/285°F | 2-10秒 | 300番台 | ホットピール |
| 昇華ペン | アルミニウム合金 | ベースプレート | 160°C/320°F | 160°C/320°F | / | 300番台 | ホットピール |
| 収縮プラスチックシート | / | ベースプレート | 160°C/320°F | 160°C/320°F | / | 60年代 | / |

- ※フィルムを5秒間予熱すると柔らかくなり、転写品質が向上します。
 ※昇華ペンを熱転写する際は、昇華紙と収縮プラスチックシートをご使用ください。
 ※熱収縮フィルムシートを貼る際は、くっつき防止と仕上がりの均一化を図るため、ベースプレートの下に耐熱シリコンマットを敷いてください。

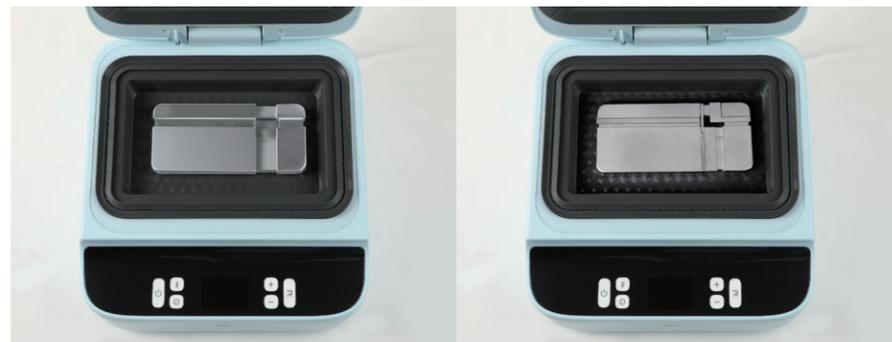
使用方法

1. デバイスの電源を入れ、温度と時間を設定し、加熱を待ちます。



2. 器具を加熱室に置き、上部のヒートプレートを開けて少なくとも5分間予熱します（大きな電話ケースの場合はサポートを使用してください）

*設置後、器具がわずかに動いているように見えるのは正常です。



3. レンズパッドをスマホケースの内側に貼り付け、左下に向かってしっかりと押しつけて固定具に取り付けます。

*アイロンをかける前に必ずスマホケースをきれいに拭いてください。

*携帯電話ケースの変形を防ぐため、必ずレンズパッドを使用してください。

*レンズパッドを置く際は、通気孔を塞がないようにしてください。



4. 昇華プリンターで昇華フィルム（マット面が印刷面）に印刷します。緑色のランプが10分間点灯した後、マット面を上にして上部のヒートプレートに置き、5分以上乾燥させます。（表面温度は40°C以上です。）

*IdeaStudio が印刷をサポートします。



5. 上部のヒートプレートを持ち上げ、マット面を下にして昇華フィルムを平らに置き、フィルムの端がシリコンを完全に覆っていることを確認してから、プレートを開じます。

*上部のヒートプレートが持ち上げられるか閉じられると、デバイスからビープ音が鳴ります。

*フィルムを置き、10秒以内に上部ヒートプレートを開じてください。

6. 設定温度に達したら、スタートボタンを短く押して真空シールと熱伝達を開始します。

*処理中は蓋を開けたり、ボタンを押したりしないでください。



7. 熱転写が完了したら、耐熱手袋を着用してヒートプレートを開き、熱いうちに昇華フィルムを剥がします。スマートフォンケースを固定具から取り外します。



【バッジ取り付け手順】

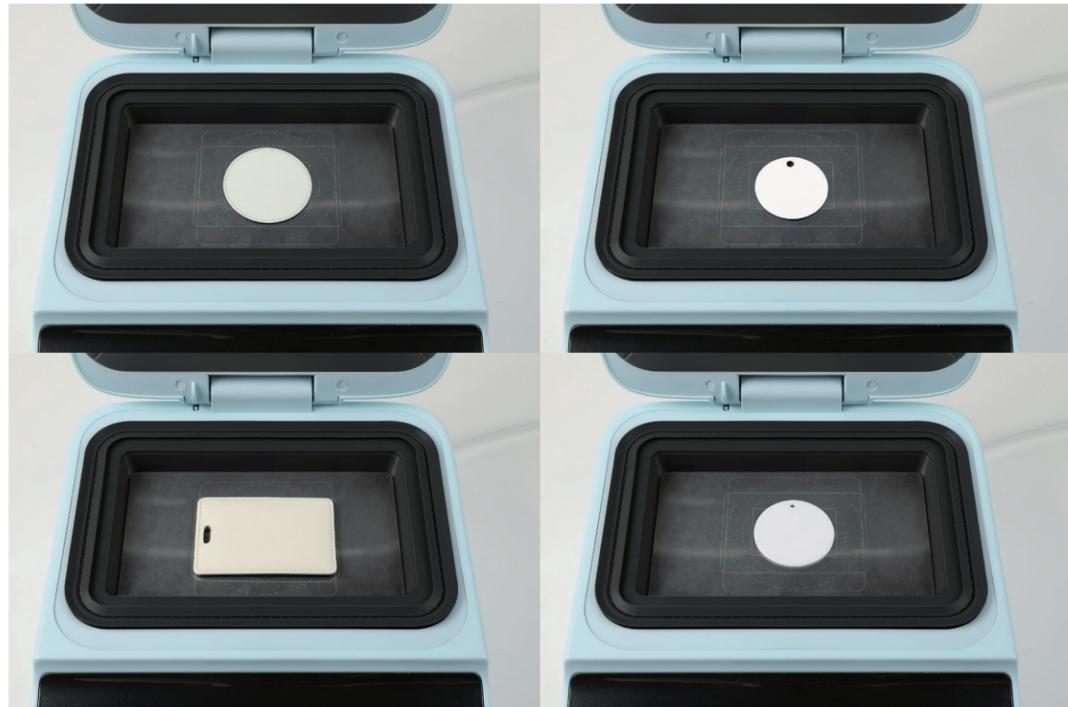
図のように、バッジ固定具とベースプレートをデバイスに取り付けます。バッジピンをスロットに挿入し、バッジをしっかりと固定します。IdeaStudioは、デザインを正しく配置するための印刷をサポートします。



【フラット基板への取り付け手順】

図のようにベースプレートをデバイスに配置し、コースター、セラミックプレート、またはその他の基板を挿入します。

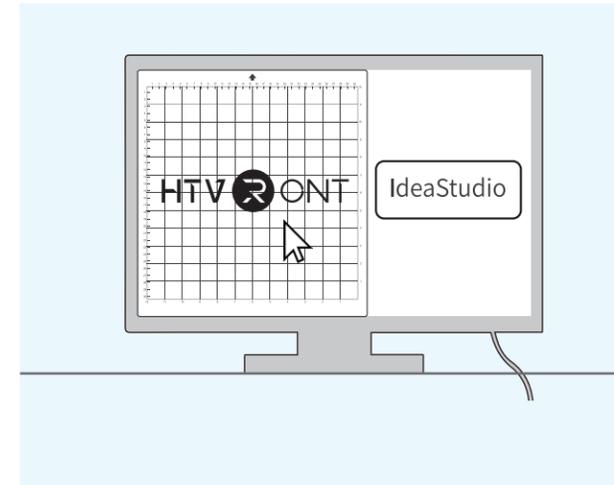
複数のアイテムを一度に押す場合は、アイテム間に少なくとも1cmの隙間を確保してください。



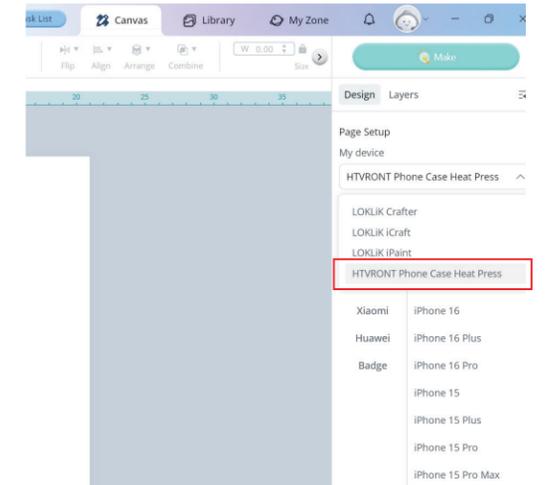
※革素材はアイロンがけ後、ベースプレートに貼り付く場合があります。ピンセットなどで剥がすか、下に普通紙などを敷いて貼り付かないようにしてください。

※ベースプレートを動かす際はピンセットを使用するか、端に耐熱テープなどを貼って持ち上げてください。

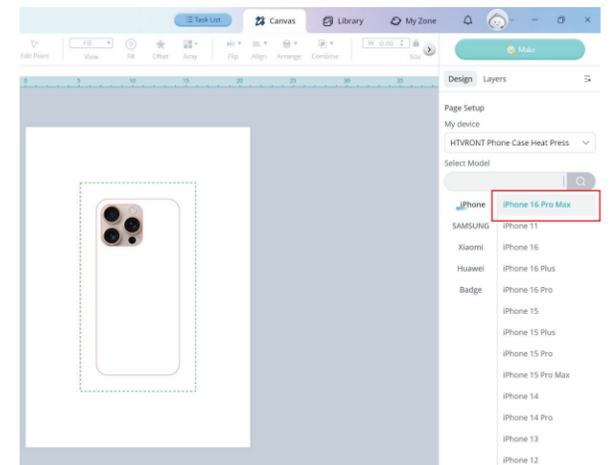
【IdeaStudio 印刷手順】



①リンク<https://loklik.com/download>から IdeaStudioをダウンロードします。

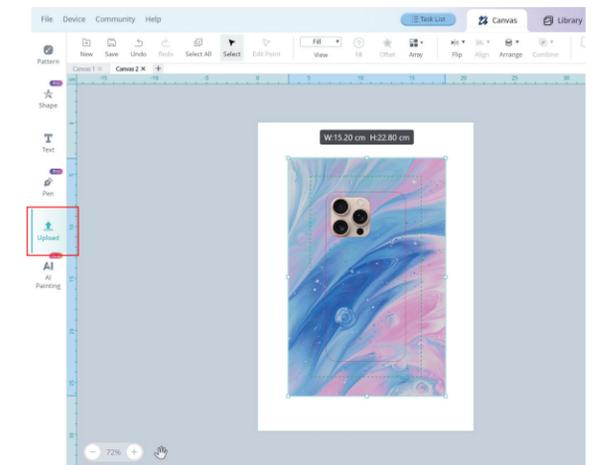


②「セットアップ」をクリックし、「電話ケースヒートプレス」を選択します。
*印刷するには、デバイスを接続する必要はなく、PCをプリンターに接続します。

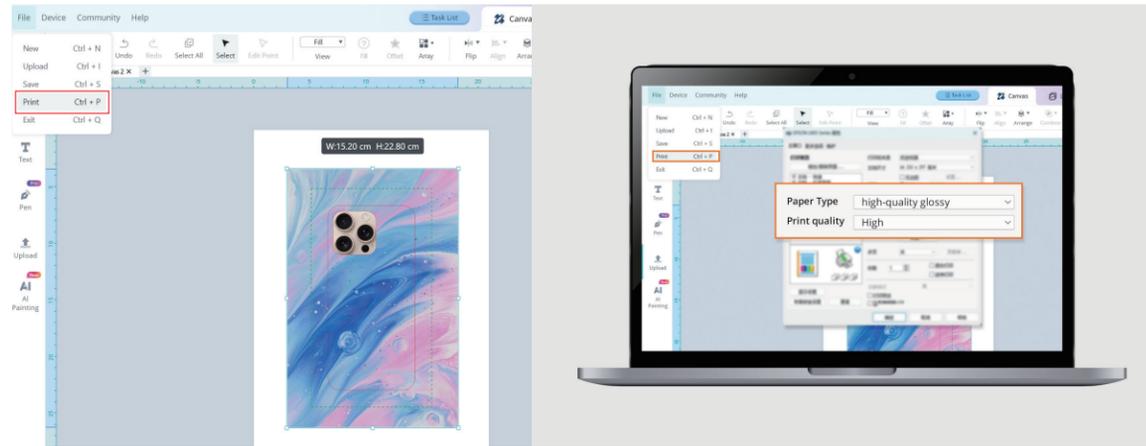


③携帯電話、バッジ、コースター、陶器の皿、キーホルダー、または荷物タグを選択します。選択できない場合は、キャンバスに直接図形を描きます。

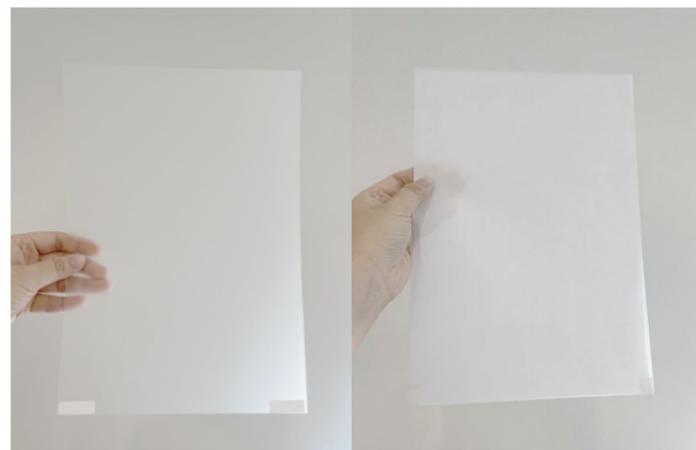
④画像をアップロードし、サイズと位置を調整します。画像が緑の枠内に収まるようにしてください。デザインにテキストが含まれている場合は、印刷前に水平に反転してください。



④印刷をクリックし、用紙の種類は「高品質光沢紙」を選択し、品質を「高品質」に設定します。プリンターにこのオプションがない場合は、「OHPフィルム」または「厚紙」を選択してください。
*印刷中に紙詰まりや印刷ミスが発生する場合は、フィルムの下端にラベルを貼ってください。それでも問題が解決しない場合は、フィルムの裏面にA4サイズ用の紙を貼ることで、紙送りとセンサーの検出が改善されます。



⑤ 「印刷」をクリックし、用紙の種類は「高品質光沢紙」を選択し、品質を「高品質」に設定します。プリンターにこのオプションがない場合は、「OHPフィルム」または「厚紙」を選択してください。



*印刷中に紙詰まりや印刷ミスが発生する場合は、フィルムの下端にラベルを貼ってください。それでも問題が解決しない場合は、フィルムの裏面にA4サイズ用の紙を貼ることで、紙送りセンサーの検出が改善されます。

仕様

| | | | |
|---------|--|---------|-------------------------------|
| 製品名 | HTVRONT Phone Case Heat Press | 入力 | 110V~ 60Hz 1000W |
| モデル | HPX01 | | |
| 温度 | 100-160°C (210-320°F) | 時間 | 1-600 s |
| 製品寸法 | 32.6 × 30.4 × 17.2 cm /12.8 × 12.0 × 6.8 寸 | デバイスの重量 | 5.3 11.7kg ポンド |
| パッケージ寸法 | 37.7 × 35.0 × 22.5 cm /14.8 × 13.8 × 8.9インチ | パッケージ重量 | 7.1 15.7kg ポンド/7.5 16.5kg ポンド |

予防

- この製品は屋外では使用しないでください。家庭用にのみご使用ください。
- この製品は、平らで安定した耐熱性のある表面でのみ使用できます。
- 使用中は製品を可燃物から遠ざけてください。
- 本製品を使用する際は、事故防止のため、必ず目を離さないでください。離れる際は、必ず電源を切り、電源コードを抜いてください。
- 火傷を防ぐため、電源を入れた後はヒートプレートに触れないでください。
- 操作中は電源コードがヒートプレートに触れないようにしてください。
- 使用後は、デバイスが完全に冷めるまで待ってから保管してください。
- 漏電や危険を避けるため、使用後や製品を清掃する前には電源コードを抜いてください。
- 製品を液体に浸さないでください。
- ピープ音が鳴り、画面に「E1/E2/E3」と表示された場合は、直ちに電源を切って再起動してください。ご不明な点がございましたら、HTVRONTのカスタマーサービスまでお気軽にお問い合わせください。
- 製品に故障や破損がある場合は、直ちに使用を中止し、HTVRONTのカスタマーサービスまでご連絡ください。
- 14歳未満の子供が機械を使用する場合は、必ず大人の監督が必要です。
- 警告: 感電や怪我のリスクを軽減するため、メンテナンスを行う前に必ず製品のプラグを抜いてください。
- この製品には、感電の危険を減らすために、極性プラグ（一方のプラグがもう一方のプラグより幅広）が付属しています。
このプラグは極性のあるコンセントに一方方向にのみ差し込めます。
完全にはまらない場合は、プラグをひっくり返してみてください。
それでも適合しない場合は、資格のある電気技師に連絡してください。
いかなる場合でもプラグを改造しないでください。
- 製品を子供の周囲で使用する場合には、厳重な監視が必要です。
- 電源コードが4.5フィート（1.4メートル）より短い場合は、次の手順に従ってください。
a) つまずいたり絡まったりする危険を減らすために短いコードを使用します。
b) 延長コードを使用することもできますが、慎重に取り扱ってください。
c) 延長コードを使用する場合:
コードの定格電力は製品の定格電力以上である必要があります。
コードを安全かつきちんと整理し、子供が引っ張ったり、つまずいたり、つかんだりしないように、テーブルの端から離してください。
- 家庭用のみであり、製品を水または液体に浸さないでください。
- 清掃とメンテナンス:
a) 清掃する前に必ず電源コードを抜いてください。
b) 製品が完全に冷めるまで待ってから取り扱ってください。
c) 柔らかく乾いた布で拭いてください。洗剤やクリーナーは使用しないでください。
d) 使用していないときは、製品を清掃し、子供の手の届かない涼しく風通しの良い場所に保管してください。

Q1: 携帯電話ケース固定具の使用上の注意は何ですか？

A1: 固定具は調整可能で、小さなサポートを使用して隙間を埋めると、転写結果が向上します（ピンセットを使用して補助することもできます）。

A2: 適切なサイズのレンズパッドを使用し、高温テープを使用して固定すると、熱伝達が向上します。

A3: Androidモデルの場合は、付属のセットから適切なRコーナーを選択して取り付けてください。（Appleモデルの場合はRコーナーを変更する必要はありません。）

Q2: 最良の熱伝達結果を確実に得るにはどうすればよいですか？

A1: 昇華型プリンターをご使用ください。ご使用前に、印刷した画像のインクが完全に乾いていることを確認してください。図のように、印刷した画像をデバイスのカバーの上に置いて乾燥を早めたり、オープンで乾燥させたりすることもできます（推奨設定：温度：40℃、時間：2～3分）。

A2: 真空密封の失敗を避けるために、必ず A4 サイズの昇華フィルムを使用し、加熱室内で平らに揃っていることを確認してください。

A3: 印刷した昇華フィルムをすぐに使用しない場合は、吸湿による熱伝導への影響を防ぐため、密閉容器に保管してください。印刷後4時間以内に使用することをお勧めします。

A4: 適切なサポートと熱伝導を確保するために、レンズパッドを必ず使用してください。使用しないと、カメラ周辺でプレス不良や変形が発生する可能性があります。

A5: 携帯電話ケースを置くときは、真空処理中にフィルムが破れないように、カメラ領域が固定具の隙間に揃っていないことを確認してください。

Q3: 携帯電話のケースを固定具から取り外すにはどうすればよいですか？

A1: 作業中は耐熱手袋を着用してください。

A2: 転写が完了したら、ヒートプレートを開き、すぐに昇華フィルムを剥がしてください。

A3: 携帯電話のケースを持ち、下向きの圧力をかけて固定具を圧縮し、携帯電話のケースを取り外します。

A4: 取り外しにくい場合は、ピンセットを使ってカメラ部分をつまみ、慎重に携帯電話ケースを引き抜いてください。

Q4: バッジを熱プレスする際に注意すべきことは何ですか？

A1: バッジ固定具を使用し、ピン側を固定具のスロットに挿入します。

A2: A4サイズの昇華フィルムを使用します。

A3: 画像印刷には IdeaStudio をご使用ください。

Q5: コースターやセラミックプレートなどの平らな素材に熱転写するにはどうすればよいですか？

A1: 基板をベースプレート上に置きます。

A2: 複数のアイテムをプレスする場合は、基板間および基板と加熱室の壁の間に少なくとも 1 cm のスペースを確保してください。

A3: A4サイズの昇華フィルムをご使用ください。

Q6: 機械使用時に異臭がするのは何故ですか？

A1: 昇華インクの蒸発、または治具の潤滑剤の揮発による臭いと思われる場合があります。これは正常な現象です。

Q7: 印刷に失敗した場合はどうすればよいですか？

A1: 昇華型プリンターをご使用ください。0.3mmを超える厚みのメディアに対応していることをご確認ください。

A2: 印刷サイズはA4に設定してください。用紙の種類は「OHPフィルム」または「厚紙」を選択することをお勧めします。

A3: フィルムは透明または裏面が滑らかであるため、センサーの検出に影響したり、給紙に問題が生じる可能性があります。性能向上のため、端にシールを貼るか、裏面にA4用紙を貼ってください。

Q8: 使用後はどのように保管すればよいですか？

A1: デバイスが完全に冷めてから保管してください。

A2: 平らなベースに昇華インクの残留物がある場合は、アルコールで拭き取ってください。

Q9: 元の画像と転写されたデザインの色が異なるのはなぜですか？

A1: プリンターの機種またはインクの種類が原因である可能性があります。色補正とプリントヘッドのクリーニングをお試しください。

A2: 最終的な仕上がりが黄色すぎる場合は、プリンターの設定で黄色のインク出力を減らしてください。

A3: 光沢のあるスマートフォンケースは、マットなケースよりも鮮やかな仕上がりになる傾向があります。お好みのタイプをお選びください。

A4: 推奨の熱プレス設定を必ず守ってください。過度のプレスは色の精度に影響する可能性があります。

Q10: 真空転写で最良の結果を得るにはどうすればよいですか？

A1: 携帯電話ケースに貼り付ける際は、レンズパッドの空気穴を塞がないでください。

A2: 最良の結果を得るには、昇華フィルムをシリコンリングに貼り付ける際に、リング全体が完全に覆われていることを確認してください。

A3: 予熱時間を0～10秒（最適：5秒）の推奨範囲内で設定します。

A4: フィルムを置いて10秒以内に上部のヒートプレートを閉じてください。

A5: 機械が冷えている間に、内側と外側のシリコンリングを軽く押しして適切な気密性を確保します。

Q11: 画面にE1/E2/E3が表示された場合はどうすればよいですか？

A1: E1 - 加熱不良、

A2: E2 - 温度上昇エラー、

A3: E3 - 短絡または断線エラー、

A4: 上記のいずれかが発生した場合は、直ちに電源を切り、機器の使用を中止してください。HTVRONTカスタマーサービスまでご連絡ください。

HTVRONT H17 Phone Case Heat Press の限定保証

本製品は購入日から1年間の保証が付いています。保証期間内に正常な使用状態で欠陥が発生した場合、保証サービスを提供いたします。保証サービスを受けるには、購入証明書の提出が必要です。HTVRONT アクセサリーは購入日から3ヶ月間、無料保証が付いています。保証条件が適用される現地の法律および規制と矛盾する場合、現地の法律が優先されます。

適用法で認められる範囲において、以下の場合、HTVRONT は保証の責任を負いません: 消費者による不適切な使用、メンテナンス、および保管に起因する故障、当社の許可なく 3 保証修理を請け負わない人物による自己修理または分解により生じた故障、保証の有効期限が切れており修理により引き続き使用できる製品、不可抗力による損害。一方、HTVRONT は、商品性および特定目的への適合性の保証を含む、すべての黙示的および法的保証を否認します。拒否が許可される保証の対象期間は、本保証の期間内です。

保証を受けるために、購入証明が必要になる場合があります。